

Fine Kernel ToolKit システム

C++ Builder (旧 Borland C++ 5.5) 無償版 セットアップマニュアル

FineKernel Project
(2008 年 12/13 版)

1 C++ Builder のセットアップ

ここでは、フリーの開発環境である C++ Builder 無償版のセットアップを行う。まず、以下の URL にアクセスする。

<http://www.codegear.com/jp/downloads/free/cppbuilder>

このページ中の「C++ Compiler 5.5/Turbo Debugger」という項目を選択し、指示に従ってインストーラをダウンロードする。

ダウンロードしたインストーラを起動することでインストールできる。デフォルトのインストールフォルダは「C:\borland\bcc55」となるが、他の場所にインストールしてもよい。その場合、以降の説明で「C:\borland\bcc55」とある部分を適宜読み替えて設定すること。

2 FK のセットアップ

次に、Fine Kernel ToolKit システム (以下「FK」) のセットアップを以下の手順で行う。

1. 以下の URL から、「C++ Builer (Borland C++) 用インストーラ」のインストーラをダウンロードする。

<http://sourceforge.jp/projects/fktoolkit/releases/>

2. インストーラを起動し、指示に従ってインストールする。
3. もし C++ Builder を C:\borland\bcc55 以外にインストールした場合は、インストールした FK_BCC フォルダの中の、bin フォルダの中にある fkbcc.bat をエディタで開き、3 行目の「SET BCCPATH=」という記述のイコール以降を、C++ Builder をインストールした場所書き換える。

3 実行パスの設定

次に、C++ Builder と FK の実行環境を実行パスに追加する。利用している OS が Windows XP の場合は、以下の手順で行う。

1. (Vista の場合のみ) もし利用を想定しているアカウントの権限が「標準ユーザ」であった場合、あらかじめ権限を「管理者」に変更しておく。
2. メニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択する。
3. 「詳細設定」タブを選択し、「環境変数」ボタンを押す。
4. 上下にある表のうち、上のリストを参照する。もし変数項目に「PATH」というものがなかったら「新規」ボタンを、あったら「PATH」項目を選択して「編集」ボタンを押す。
5. 「変数名」に「PATH」を、「値」に「C:\borland\bcc55\bin;C:\FK_BCC\bin」と入力する。もし既に値が設定されている場合、その行末にセミコロンを入力し、その後上記を入力する。

6. 「OK」を押す。
7. 「OK」を押す。
8. 「OK」を押す。
9. (Vista の場合のみ) ユーザの権限を元に戻す。

4 コマンドプロンプト上でのコンパイルと実行

ここまでのセットアップを済ませれば、コンパイルと実行が可能となっている。コンパイルと実行はコマンドプロンプト上で、以下のコマンドを実行する。

```
fkbcc ソースファイル名 -o 実行ファイル名
```

なお、Cygwin や MSYS のシェル (bash や tcsh, zsh など) 上で実行する場合は、「fkbcc」を「fkbcc.bat」に置き換えることで同様にコンパイルできる。

A TextPad のセットアップ

TextPad はシェアウェアのエディタで、「<http://japan.textpad.com/>」からダウンロードして利用することができる。TextPad は、任意のコマンドを登録しメニューから呼び出す機能があり、これを利用するとコマンドプロンプトを用いずに開発することができる。

以下の手順を実行することによって TextPad 中でメニューによるコンパイルや実行が可能となる。

1. TextPad を起動する。
2. メニュー中の「設定」 「環境設定」を選択する。
3. 出てきたダイアログの左側に表示されているツリーメニュー中の「ツールマネージャー」という文字を選択する。
4. 右上にある「追加」ボタンを押し、出てくるメニューで「DOS コマンド」を選択する。
5. 新たに現れたダイアログに「FK(BCC) コンパイル」と入力して「OK」を押す。
6. 再び「追加」ボタンで「DOS コマンド」を選択し、今度は「FK 実行」と入力して「OK」を押す。
7. 「適用」ボタンを押す。
8. 左側のツリーメニューの「ツールマネージャー」の左側にある+ 文字をクリックし、ツリーを展開する。すると、「FK(BCC) コンパイル」や「FK 実行」がツリーメニュー中に表示される。
9. ツリーメニュー中の「FK(BCC) コンパイル」を選択する。
10. 右上にある「引数」というテキストボックスの中を、「fkbcc \$File -o \$BaseName」という内容に変更する。
11. 「適用」ボタンを押す。
12. 同様に、ツリーメニューから「FK 実行」を選択し、「引数」テキストボックスの内容を「\$BaseName」に変更して「適用」を押す。
13. 「OK」を押す。